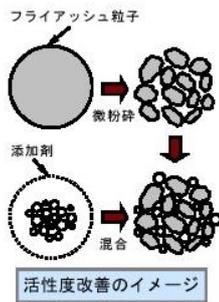
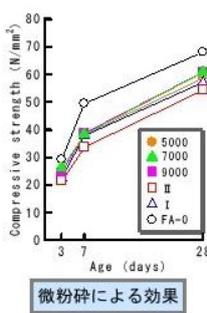
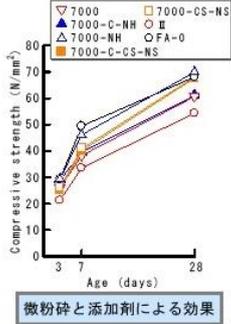




廃棄物、副産物を有効利用
フライアッシュの有効利用に関する研究

技術分野分類 5701：土木材料・施工・建設マネジメント、5604：リサイクル工学
技術キーワード A：コンクリート
産業分類 D-06：総合工事業

内 容	概要	石炭火力発電所の増設にともない、石炭灰の発生量は年々増加しており、ここ数年は年間1000万トンを超えている。この石炭灰は有効利用が切望されているが、その利用実績は、わずか3.5%(2006年度実績)に留まっている。そこで、フライアッシュを微粉砕し添加剤を適量添加することで、普通ポルトランドセメントと同等の圧縮強さを安定的に得る活性度の改善手法を提案した。
	従来技術・競合技術との比較(優位性)	<ul style="list-style-type: none"> ・常温養生という最も普及した養生条件下で、良好な強度発現を呈するフライアッシュの活性度の改善手法を得ている。 ・活性度を改善するため、フライアッシュを微粉砕し添加剤を適量添加することで、普通ポルトランドセメントと同等の圧縮強さを安定的に呈する。
	本技術の有用性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案した活性度の改善手法は、常温養生で適用できる。 ・最も生産量が多い、生コンクリートへの応用が可能である。
関連情報 (図・表・写真等)	  	
適用可能製品	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート用混和材として容易に使用できる。とくに生産量が多い、生コンクリートへの応用が可能である。 	
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	犬飼 利嗣 (独) 国立高等専門学校機構 岐阜工業高等専門学校 建築学科 教授
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	総務課 研究協力係 058-320-1213 / 058-320-1240 kenkyu@gifu-nct.ac.jp

■知的財産

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2014年11月 5日